

## 荒井の山王塚について

この塚は、JR高崎線北本駅の西方約2.0km、県道さいたま・鴻巣線の東側に位置し、行政区上は荒井1丁目地区に所在します。約100m南方には「味噌観音」の名で親しまれている荒井の観音堂があります。

塚上には小さな社があり、その中に石刻猿とともに、山王上七社の神像を表現した石塔が奉納され、銘は「武州足立郡石戸領新井村施主 峯寛文五 乙巳天十月廿日敬口」とあり、寛文5年(1665)年の奉納であることがわかります。

石塔には、山王上七社の神である大宮・二宮・聖真子・八王子・各人・十禅師・三宮の図像が陽刻で示されています。

この山王塚は、地元では「サンノウヤマ」と呼ばれ、高尾8丁目の金子豊明家(「中金子」)が所有しています。現在も金子氏が祀っており、近年、社を修繕し、減った塚を盛土して整備しているということです。



写真1 山王塚全景(南西から)



写真2 社全景(南から)



写真3 石塔の銘文と山王上七社